

2026/3期 2Q 決算補足説明資料

2025年10月22日
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

国内経済及び業界動向

- 米国政策動向や物価上昇等による景気下振れリスクはあったものの、雇用・所得環境の継続的な改善やインバウンド需要があり、生成AIやクラウドサービス、DX関連投資拡大など、引続き投資需要が底堅く推移

当社の特徴と2Q業績

- クライアントや取引先Sierの予算執行のタイミングや開発システム工期との兼合いから、例年上期よりも下期に業績が集中する傾向。(四半期ごとでは、第1四半期より第2四半期、第3四半期より第4四半期)
- 当上期は主力である銀行分野の大型案件の端境期による受注減少が大きく、保険分野などで事業拡大を図ったものの金融事業で前年同期比売上減少。一方で、他の3事業分野で前年同期を上回り、売上高は3.9%増加。
- 前期に引き続き、IT人材の確保に向けた積極的な採用や、生成AIをはじめとするDX人材育成への取り組みを推進。これらの将来の成長に向けた先行投資により販管費が大きく増加し、営業利益・経常利益を圧迫。
- グリーンキャット社は第2四半期より連結を開始したものの、上期では5・6月の2か月分のみの業績反映。下期は、半期6か月分全ての業績が加算され、売上規模の拡大が見込まれるため、通期計画は据え置き、達成を目指す。

中期経営計画に沿った施策を積極的に推進

4月: 人員増強(新卒採用を拡大継続)、R&D・業務提携(AIを搭載したパッケージソフト開発・販売開始)
5月: M&A(2024年のヒューマン&テクノロジー社に続きグリーンキャット社を完全子会社化)
7月: R&D・業務提携(大阪大学との協創検討開始)

- 主力である銀行分野の大型案件の端境期による受注減少が大きく、金融事業で前年同期比売上減少となったが、他の3事業分野で前年同期を上回り、売上高は3.9%増加
- IT人材の確保に向けた積極な先行投資により販管費が大きく増加し、営業利益・経常利益を圧迫

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	2Q累計	通期	2Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	3,754	7,684	3,899	+145	+3.9%	9,400	41.5%
売上総利益	714	1,448	711	△3	△0.5%	1,825	39.0%
粗利益率	19.0%	18.9%	18.2%	△0.8pp	－	19.4%	－
販管費	455	886	497	+42	+9.3%	1,105	45.1%
営業利益	259	562	213	△45	△17.7%	720	29.6%
営業利益率	6.9%	7.3%	5.5%	△1.4pp	－	7.7%	－
経常利益	274	611	230	△43	△15.9%	767	30.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	224	485	212	△12	△5.4%	590	36.1%
EPS	97.6円	210.6円	92.1円	△5.5円	△5.6%	254.3円	36.2%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、第2四半期から連結業績に含まれる。今2Qは2か月分が反映されている。(通期では8か月分)

- クライアントや取引先Sierの予算執行のタイミングや開発システム工期との兼合いから、例年上期よりも下期に業績が集中する傾向(四半期ごとでは、第1四半期<第2四半期、第3四半期<第4四半期)
- **今第2四半期は売上・粗利とも四半期での過去最高額を更新**

(百万円)	2025/3期				2026/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年2Q比	前四半期比 (1Q比)
売上高	1,826	1,927	1,922	2,007	1,753	2,146	+11.3%	+22.4%
売上総利益	352	362	354	379	318	392	+8.3%	+23.3%
粗利益率	19.2%	18.8%	18.4%	18.9%	18.2%	18.3%	—	—
販管費	279	176	191	239	279	218	+24.2%	△21.7%
営業利益	72	186	163	140	39	174	△6.6%	+345%
営業利益率	4.0%	9.7%	8.5%	7.0%	2.2%	8.1%	—	—
経常利益	82	191	175	161	51	179	△6.3%	+250%
親会社株主に帰属する 当期純利益	92	132	123	136	66	146	+10.6%	+122%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、第2四半期から連結業績に含まれる。今2Qは2か月分が反映されている。(通期では8か月分)

- 自己資本比率は高水準で盤石な財務基盤を堅持
- M&Aにより手元資金は減少したものの、高い流動性を確保

(百万円)	2024/3	2025/3	2025/9	前期末比増減
流動資産	4,121	3,937	3,551	△385
現預金	2,905	2,638	2,197	△440
売掛債権	1,100	1,214	1,238	+23
棚卸資産	21	16	39	+23
固定資産	1,757	2,534	3,617	+1,082
のれん	—	188	844	+655
顧客関連資産	—	143	137	△5
投資有価証券	1,577	2,011	2,284	+273
総資産	5,878	6,471	7,168	+697
負債	1,167	1,357	1,825	+468
買入債務	271	268	284	+16
純資産	4,711	5,113	5,342	+228
負債及び純資産	5,878	6,471	7,168	+697
自己資本比率	80.1%	79.0%	74.5%	△4.5pp

- 順調に利益を計上し、M&Aによる子会社株式取得支出するもFCFは増加

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2025/9
営業CF	30	461	2
税前当期利益	632	695	306
減価償却費	14	34	15
債権債務増減	△57	△91	62
棚卸資産増減	7	4	△14
役員退職慰労金	△500	—	—
投資CF	△7	△444	118
固定資産取得	△6	△30	△12
子会社株式取得	—	△407	△247
保険積立金解約収入	100	—	—
FCF	23	17	121
財務CF	92	△184	△109
長期借入・返済	—	—	△17
株式発行収入	231	—	—
自己株式売却・取得	59	—	0
配当金支払額	△174	△184	△92
現金及び現金同等物増減額	116	△167	11

- 中期経営計画に沿って、積極的な資本業務提携で連結経営に移行するなど、着実に業績を伸長する計画
- 旺盛なシステム投資案件の継続、中期経営計画施策の着実な実行により、前期比で約22%の増収計画
- 外注単価や人件費などのコスト上昇を想定。特に将来を見据えた新卒採用人員の大幅増員により、教育・研修費用が増加しコスト先行となるものの、下期以降の大幅な増収効果により前期比28%の営業増益を見込む

(百万円)	2025/3期 (実績)		2026/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	7,684		9,400	+1,715	+22.3%
営業利益	562		720	+157	+28.0%
経常利益	611		767	+155	+25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485		590	+104	+21.6%
EPS(円)	210.6		254.3	+43.7	+20.7%

配当金での株主還元が柱

- 2026年3月期は20円増配し年間100円と上場以降3期連続増配を計画。配当性向は、39.3%へ上昇
- 早期に配当性向40%以上へ引上げ、業績や財務状況、投資計画の状況を考慮し、更に利益を還元していく方針

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期(予想)		
				年間	中間	期末
一株当たり配当額	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	100円	50円	50円
うち、記念配	—	10円 (5円)	—	—	—	—
EPS*1	239.5円	193.0円	210.6円	254.3円	—	—
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	39.3%	—	—

※2024/3期、2025/3期の下段括弧は中間配当金額を内書き

- 第2四半期累計の売上高は、地銀向け大型案件の延期等により金融事業が落ち込む一方、他の事業部門が伸長し、全体では前年同期比でわずかに減少
- 定期昇給やベースアップ、社会保険料負担の増加により人件費が上昇し、販管費は約1割増加。営業利益・経常利益を圧迫
- 一方、政策保有株式の縮減方針に沿った投資有価証券の売却により、純利益の継続的な押上げが可能な体制を確立

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	2Q累計	通期	2Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	3,618	7,418	3,563	△55	△1.5%	8,030	44.4%
金融	1,532	3,052	1,334	△197	△12.9%	3,258	41.0%
産業流通	962	2,042	1,003	+40	+4.2%	2,271	44.2%
社会公共	836	1,722	912	+76	+9.1%	1,843	49.5%
ITイノベーション	287	601	312	+25	+8.9%	656	47.6%
売上総利益	679	1,374	640	△38	△5.7%	1,525	42.0%
粗利益率	18.8%	18.5%	18.0%	△0.8pp	—	19.0%	—
販管費	392	749	430	+37	+9.6%	825	52.2%
営業利益	286	625	210	△76	△26.7%	700	30.0%
営業利益率	7.9%	8.4%	5.9%	△2.0pp	—	8.7%	—
経常利益	300	673	228	△71	△23.9%	750	30.5%
当期純利益	254	555	220	△33	△13.3%	611	36.1%

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先	株式会社オービーシステム 東京本社IR担当 TEL:03-3471-9877(代表) E-mail:ir@obs.co.jp
---------	--